

閱 覧 用

**令和元年度「市民と議会の懇談会」
質問等への回答について**

境港市議会

「市民と議会の懇談会」の回答について

このたびは、「市民と議会の懇談会」にご参加いただきまして、誠にありがとうございました。

各会場でいただきましたご質問やご意見について、議会改革推進特別委員会で整理し、一覧表にまとめて全議員に配付いたしました。

その中で、議会において調査すべきものや検討すべきものを抽出し、所管する各委員会に振り分けて回答書を作成いたしました。

令和元年 11 月 境港市議会

■ 総務民教委員会に関わるテーマ

【質問】 <境公民館>

税金の払い方について、月払いに変えると滞納者は確実に減ると思う。地方では変えられないが黙っていても決して変わることはない。市民が支払いやすい制度に変えてくべき。

【回答】

令和 3 年の基幹業務システムの更新に合わせて、郵便局、銀行、コンビニ納付できる共通の納付書に変更し、市民の利便性を図ります。

【質問】 <外江ふれあい会館>

ゴールデンウィーク 10 連休の時、可燃ごみ収集が一回無くなるということが市報に掲載されていた。市報を隅から隅まで見る人は少なが、市の会議に出ると「この件は市報で周知する」という話が必ず出てくる。見る人は少ないのでもっと他の方法考えてほしいと意見を言っているが、どのように徹底するのか。自治会に入っていない人には市報が届かない。読んでない人にどう周知できるのか、自治防災課に話をして、結果的に防災無線を要請して放送したが、聞こえないところもあり結果的には難しい状況だった。最終的には全部その日該当するところは全部回収するという答えをもらったが、緊急でこちらからいろいろと言ってそういう形になったが、実際あちこちでゴミが出されており現実は大変な問題だった。何故あそこで休にされたのかということが理解できない。

米子市のカレンダーが良くできている。ゴミの収集だけではなく、子どもの予防接種や高齢者に関わる医療、福祉などの年間のスケジュールが全部細かく書いてある。これ一つあれば可燃ごみ、ペットボトルの回収など、一歳六カ月検診や成人の健康診断がありますよ、三歳児検診の日程など細かく全部書いてある。

【回答】

担当課に伝え、本市のカレンダーができるかどうか検討するよう要請しました。

■ 経済厚生委員会に関わるテーマ

【質問】 < 渡公民館 >

渡 7 区会館は 50 年以上の古い会館であり、建築営繕課に耐震調査の依頼をしたが、会館は対象外で調査費用などは一切出ないと言われた。どのような考えなのか。渡地区だけの問題なのか。

【回答】

渡 7 区会館は市所有の建築物でないため、市では調査を行う事ができず、補助要件を満たせば補助申請ができますが、所有者が不明確である場合は補助の申請ができません。現在、建物の所有者が自治会所有である場合は自治会で補助申請が行う事ができます。また、建物の所有者が違う場合は、その所有者の同意書と建物登記の書類を添えて自治会が申請を行うことができます。補助金としては、補助対象経費に 3 分の 2 を乗じた金額となりますが、所有者が分からない場合は申請ができないので、詳細について、もう一度、建築営繕課と協議をお願いしたいと思います。

【質問】 < 渡公民館 >

荒廃地について、森岡、渡のほうも荒廃地の整備をするようだが、雑木があるようなところは対象にならないのか。森のようになっているが、あれは対象外か。整備計画は全然されないのか。

【回答】

荒廃した遊休農地の整備計画としては、余子地区において、平成 30 年度から令和 2 年度までの 3 ヶ年計画で農地耕作条件改善事業を計画しています。森岡町、渡町にある遊休農地の整備については、余子地区の次の段階であり、現在のところ具体的な計画には至っていませんが、余子地区の整備等へ移行して農業者や関係機関とよく協議したいとのことです。また、雑木が森のようになっているところであっても、整備の対象とする場合もあります。

【質問】 < 渡公民館 >

通学路について、渡地区は 8 区の入口から 3 区の出口、30 キロ制限になっているが、郵便局のほうから公民館に抜ける道の制限速度が 40 キロになっている。大祥寺の入口のところが一番狭いのになぜ 40 キロか不思議。しかも途中からは道が広くなっていて、大分スピード出して出てくる。学童注意とか書いてもらおうとか、今まで事故が起こらなくてよかったですけど、仮に事故があったらどうかと思っている。

【回答】

通学路の安全対策として、年に 1 回学校、警察、教育委員会、道路管理者、自治会などで合同点検を実施し、対策必要箇所は順次整備を行っています。当該箇所は、今年 3 月に注意喚起の路肩カラー舗装を行ったところです。なお、速度制限については、通学路点検を受け、沿道状況や交通特性を勘案し、公安委員会が決定することとなっています。

【質問】 <境公民館>

大正川両側のさつきについて、剪定されるが上と道路側はしてあるが壁は全然してない。何年もそのまま雑草がいっぱい生えている。仕事の内容で壁にはしなくていいとなっているのか。それとも業者がしないところなのか。何課が担当でも良いので確認してほしい。やってもらったほうがいいと思う。

ねずみ男の像の角のところに蓬がすごく生えており、一斉掃除の時から何日かかったかわからないが、南の松野医院の橋の手前まで蓬を取った。

その間に桜が植えてあるが今年は咲きが悪かった。枯れ枝がいっぱいある。第二公園の桜も一緒。雨が降ったら道路際に大きなものも落ちてきて時がある。きれいに整備したらいいと思うがどうか。

あそこは何日もかかって 20、30 袋に入れてごみの日に出した。今またもっと近くにまた芽を出して生えている。あんな枯れた枝は見苦しい。

【回答】

水木しげるロードの樹木は、昨年の異常高温と雨が少なかったことから、樹木への灌水の回数を増やす一方で、沿線の皆様のご協力をいただきながら、対策を行っていたようですが、残念ながら、数本の樹木が枯れている状況にあるとの事です。そこで、完全に枯れているものと、養生を行えば吹き返すものを見極めた上で、枯れ木と断定した樹木については、平成 30 年 12 月から平成 31 年 3 月に植え替えを行ったところであります。また、完全に枯れ木でないと診断した樹木については、経過観察を行っていたようですが、令和元年 6 月に再度、専門業者による診断を行い、ヒマラヤ杉やシダレエンジュなど新たに 11 本の枯れ木があることが判明したとの事です。現在、植え替え樹木を準備しているようですが、シダレエンジュなど入手が難しい樹木の調達や、植え替え樹木の根回し処理に、半年から 1 年間の期間が必要となることから、枯れ木の処分については、安全性や景観を配慮した上で、植え替えまでに先行して行っていきたいとの事です。

【質問】 <境公民館>

去年言ったヒマラヤ杉もだし、シダレエンジュもモンマルトルところの角のものは幹だけ残してある。それから荒木自転車屋のところのも全然枯れているのにそのままであったり、タイサンボクも 3、4 本は枯れている。去年 1 月 18 日にももらった回答では、年内にするとあったが、年内いうことは 3 月までにするということではないか。民間であればそれは許されない。一本 100 万もするものを植えても市はちゃんと管理していない。

昨年の回答では、「専門家診断で枯れている状態じゃないと報告いただいておりますので今後適正な維持、養生をする」と書いてあったが全然していない。枯れてそのまま。枯れたのなら処分してしまったらいい。あの木を数メートル動かすのに何百万掛かったと思う。大正町のシンボルの樹木だったが、枯らしてしまってそれをそのままにしている。

【回答】

水木しげるロードの樹木は、昨年の異常高温と雨が少なかったことから、樹木への灌水の回数を増やす一方で、沿線の皆様のご協力をいただきながら、対策を行っていたようですが、残念ながら、数本の樹木が枯れている状況にあるとの事です。そこで、完全に枯れているものと、養生を行えば吹き返すものを見極めた上で、枯れ木と断定した樹木については、平成 30 年 12 月から平成 31 年 3 月に植え替えを行ったところであります。また、完全に枯れ木でないと診断した樹木については、経過観察を行っていたようですが、令和元年 6 月に再度、専門業者による診断を行い、ヒマラヤ杉やシダレエンジュなど新たに 11 本の枯れ木があることが判明したとの事です。現在、植え替え樹木を準備しているようですが、シダレエンジュなど入手が難しい樹木の調達や、植え替え樹木の根回し処理に、半年から 1 年間の期間が必要となることから、枯れ木の処分については、安全性や景観を配慮した上で、植え替えまでに先行して行っていきたいとの事です。

【質問】 <中浜公民館>

高齢者買物環境調査ではこういったアンケートを取られるのか。全市的にどこが買物難民なのかとかそういう内容なのか。麦垣、財ノ木町の中の方はお婆さんたちが買い物に出られないという実情がある。他地域もしかり。アンケートを前向きに活用できるよう市のほうでやっていただきたい。皆さんの力でやってほしい。

【回答】

「高齢者買物環境に関するアンケート」を前回、平成 27 年に実施して以降、大型店等の進出が相次ぐ一方、長年営業してきた店舗が閉店するなど、買物環境が大きく変化していることから、現状把握と共に、今後の支援策の検討等の参考にするために、同じ内容のアンケート調査を実施しました。民生委員に毎年取り組んでいた高年齢者実態調査に合わせて実施し、調査対象は、65 歳以上の独居世帯および 80 歳以上のみの世帯です。「日常の買物で不便に感じていること」「必要なサービス」「家から店までの距離が 1 km 以上かどうか」「買物の移動手段」「日常の買物で最もよく利用する店」「買物に行く頻度」「現在利用中の買物支援サービス」を尋ねました。結果は、日常の買物に「特に不満を感じていることはない」との回答が全体の約 7 割を占めた一方、近隣の店舗が閉店した時期などにより地区ごとで回答の傾向は異なっています。「どこが買物難民なのか」を一概に把握できる結果ではありませんでした。調査結果を民生委員協議会や地域ケア会議で説明し、高齢者支援に活かせるよう、外出支援策等を検討しています。はまる一歩バスの利用は前回から微増しましたが、外出支援として利用を促進するため「乗り方教室」の実施や利用者ごとの時刻表を作成するなど取り組んでいます。また、調査時に「境港市等における高齢者福祉サービス一覧表」を渡し、利用可能なサービスについての情報提供も行いました。高齢者の方一人一人の実情に応じた外出支援や福祉サービス利用ができるよう、地域包括支援センターおよび介護事業者とも連携して取り組む必要があると考えます。